

# ラシク 045

自分らしく  
オモシロク



## みなとみらいで 表現と福祉の当事場を考える

・JR「横浜駅」東口から徒歩15分  
・みなとみらい線「新高島駅」から徒歩10分、  
「みなとみらい駅」から徒歩10分  
・横浜市営地下鉄ブルーライン「高島町駅」から徒歩10分



～アート×福祉×働く人～

2026年2月15日（日）

14:00～16:00（終了後交流会）

※参加無料、申込不要



会場：PLOT48 横浜市西区みなとみらい 4-3-1  
ExPLOT Studio イベントスペース

ケアと表現が交わる場を研究・実践してきた「文化活動家」アサダワタルさんを  
ゲストスピーカーに迎えます。

みなとみらい 21 で、支援する／される関係が溶けあい、日頃の関係を越えるため  
にできることを、金魚鉢形式で会場の皆さんと一緒に考えていきます。

### ◆ 主なスピーカー

アサダワタル（文化活動家、近畿大学文芸学部准教授）

荒木田百合（元・横浜市社会福祉協議会 会長）

米満香菜（独立行政法人国立美術館 国立アートリサーチセンター）

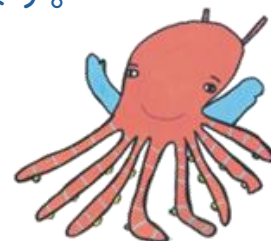
佐藤彰洋（Qumuqumu、株式会社 IHI）

小島健嗣（bit more lab）

椿慎吾（元・（株）横浜都市みらい）

鈴木由紀子（ラシク 045）

石井泰代（ラシク 045）他



ラシク 045



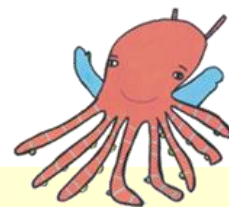
ExPLOT Studio

■ 問い合わせ：一般社団法人ラシク 045 事務局 rashiku045@gmail.com

# ラシク 045 みなとみらいで 表現と福祉の当事場を考える



～アート×福祉×働く人～



## アサダワタル ゲストスピーカー



画：花堂達之助

文化活動家／アーティスト、文筆家、近畿大学文芸学部准教授。

古書レコード店〈とか〉オーナー。1979 年大阪生まれ。

滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程満期退学、博士（学術）。

これまでにない不思議なやり方で他者と関わることを「アート」と捉え、全国の福祉施設や復興団地でプロジェクトやワークショップを実施。

その経験を著作や音楽作品として発表している。

2019 年より品川区立障害児者総合支援施設ぐるっぽにて、公立福祉施設としては稀有なアートディレクター職（社会福祉法人愛成会契約）として 3 年間勤務した後、2022 年に近畿大学教員に。

東京芸術劇場社会共生事業企画委員。ホームヘルパー 2 級取得者。

著作に『当事場をつくる ケアと表現が交わる場所』（晶文社）、『住み開き増補版 もう一つのコミュニティづくり』（筑摩書房）、『想起の音楽 表現・記憶・コミュニティ』（水曜社）、『アール・ブリュット アート 日本』（平凡社、編著）など多数。

CD 作品『福島ソングスケイプ』（アサダワタルと下神白団地のみなさん）でグッドデザイン賞 2022 受賞。



## 金魚鉢 (フィッシュボール)

少人数の話し手を、全員で囲んで聴く対話の手法です。

まるで部屋の金魚鉢をみんなで眺めるような、温かくも深い議論の場が生まれます。

少人数の「座談会、内側の金魚鉢」をみんなで見守り聴いた後、外側の人たちが近くの人と気軽に語り合います。

